

## 修士課題論文を本にする

(仮)「障害があるからおもろい  
～GREAT DREAMAR 谷口明広」

一般社団法人あつたらいいなをカタチに  
代表理事 鈴木隆子  
(社会福祉法人すてっぷ 前理事長)



国際医療福祉大学大学院  
医療福祉ジャーナリズム分野  
修士2年 鈴木隆子 18S2031  
指導教員 大熊由紀子教授  
副指導教員 水巻中正教授

1

2

## あつたらいいなをカタチに

### 私の歩み

1981～85年



1986～2000  
おもちゃ図書館  
きしゃぽっぽ

1991～2000  
OPEN HOUSEす  
てっぷ  
レスパイトサービ  
ス、放課後クラブ

2000～2021  
社会福祉法人すて  
っぷ設立  
ふつうに働く  
ふつうに暮らす  
ふつうに楽しむ



愛知淑徳大学教授  
谷口明広さんの歩み



1993～  
講演、研修  
2000～  
理事就任

2016.1.24  
谷口明広理事  
逝去

2018.4  
国際医療福祉大学  
大学院入学  
谷口さんの伝記執筆

3

## 障害と共に生き「社会を変えたい」と生きた 谷口明広先生

1956 京都市で出生

重症黄疸で脳性麻痺になる

1964 大阪府立堺養護学校入学

1976 桃山学院大学入学

1981 同志社大学大学院入学

1982 ハークレーCIL研修

1983 一人暮らし開始

1984 修士課程修了

ニーズはチーズ!  
君たちは国家公  
務員です!  
私の最高のパー  
トナーは障害や!



1985 障害者自立生活問題研究所設立

1994 『自立生活は楽しく具体的に』出版

2004 愛知淑徳大学教授

2005 『障害をもつ人たちの自立生活とケアマネジメント』

出版

2015 『障害のある人の支援計画』共著出版

2016.1.24逝去



4

# 自立とは

## 伝統的な自立觀

経済的、職業的な面での自立、または非依存、介助不要という意味での自立。

障害者のリハビリテーション＝訓練を正当化、施設収容主義を正当化。

## 新たな自立觀としての自立生活思想

自立とは自己決定である。

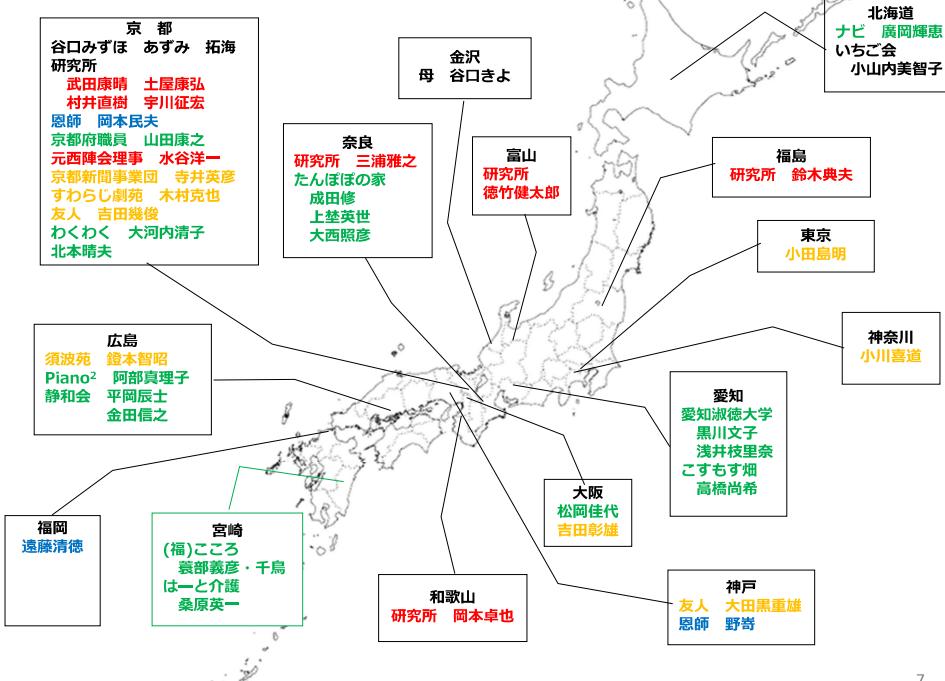
同時に、自分で決めたことの責任も障害者が負うということを意味しており、当然、失敗したり危険を冒したりする権利もこの自立の考え方には込められている。

### \*エド・ロバーツ 「依存による自立」

衣服の着脱に1時間要するものがいるとすれば、その人に対し  
て介護人を派遣して10分で着脱を終わらせ、残りの50分をより  
人間的に有意義な時間を作り出していくようにする。

5

## 各地のインタビュー協力者



7

# 研究目的

谷口さんの59年の足跡を伝記にまとめ、障害をもつ人の自立生活実現のためにどのような当事者アドボカシー活動をしたか明らかにする

### 〈メッセージ〉

- ・自立して生きることの大切さと喜びを伝える
- ・重度の障害があっても自分で選択し、自分で決めて、自分の人生を生きることができる。

### 〈読者〉

障害をもった人  
家族

⇒自分の人生を肯定し幸せな人生を  
送ることができるようになる

障害をもたない人

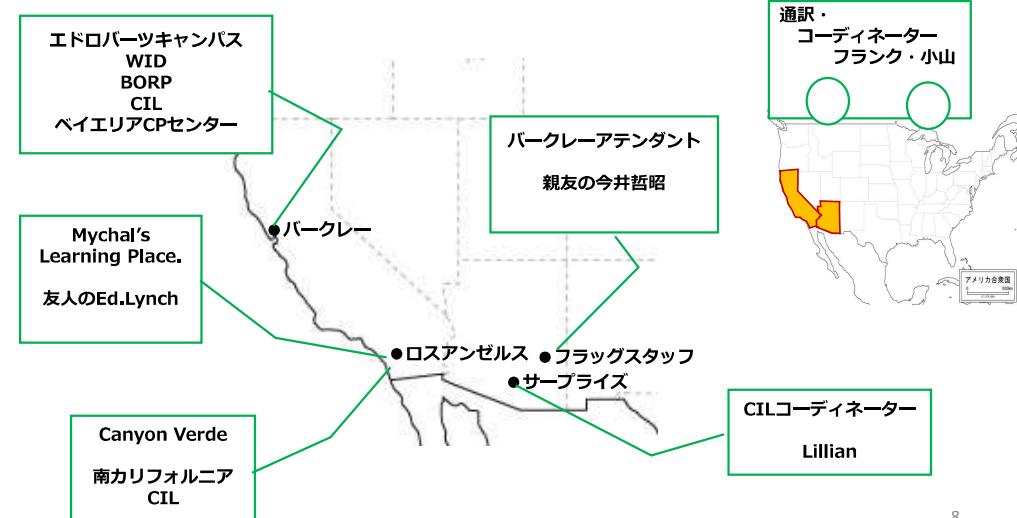
⇒人生を見つめなおすきっかけとなる  
障害や自立への理解が深まる

自分と違う個性を認めあえる、誰もが夢をもって暮らせる共生社会の実現につながる

6

## アメリカのインタビュー協力者と観察先

5/6~13 バークレー留学時代の足跡をたどるインタビュー&  
「谷口明広と行くアメリカ研修ツアー」観察先を訪問



8

# 課題研究作品の紹介

## はじめに

### 夢を実現させるための九ヶ条

- 1.自分のことは自分自身でかんがえろ
- 2.好きなことを勉強しろ
- 3.どんなことでも良いから得意技を持て
- 4.できるだけ上手に他人を使え
- 5.自分自身を大好きになれ
- 6.とてつもない大きな夢をもて
- 7.ひたすら願え
- 8.しつこく、しがみつけ
- 9.感謝しろ



9

### 1982年 アメリカバークレーCIL留学

ミスターードーナツ障害者リーダー米国留学研修2期生として  
バークレー自立生活センター(CIL)アテンダント・ケアの窓口で6か月間の実習。

自立生活(IL)概念とケアマネジメントを学ぶ



### 人生の転機

障害をもつ人々から学ぶ 自分の障害を好きになる!

#### ※エドロバーツの教え

「行政と喧嘩するな。そこにすごくエネルギーを使うのだったら、一緒に協調しながら仕組みを作って行け。」



#### ※自らもアテンダントを雇って自立生活!

てっちゃんと一緒にロックバンドの追っかけ、青春を謳歌した!

念願のパーカをかけた  
谷口さん

11

## 1章 生い立ち

1956 京都市で出生

重症黄疸で脳性麻痺になる



3~4か月の頃

1964 大阪府立堺養護学校入学

1976 桃山学院大学入学

1981 同志社大学大学院入学



歩行器で移動



高等部の授業風景



赤い服が大好きなお母さん

10

## 2章 自立生活は楽しく具体的に

1984 修士課程修了

一人暮らし開始 アテンダント制度実践

1985 障害者自立生活問題研究所設立

1988 同志社大学大学院博士課程入学

1993 結婚

1994 『自立生活は楽しく具体的に』出版



2005 社会福祉学博士(同志社大学)取得

『障害をもつ人たちの自立生活とケアマネジメント』  
出版



12

# 最高のパートナーみずほさん



1993年 結婚



子供が生まれました  
あづみと拓海です



講演でよく子供たち  
の話をしていました

2007年 七五三

# 5分間の奇跡 谷口先生にしかできない!



当事者に 「障害があって何が悪いのですか、き  
らきら光る人になってください。」

お母さん 「子供の自立を応援してくださいね。」

支援者に 「夢のある、楽しい支援計画を作つて  
ください。」

障害をもつ人や家族をエンパワメント

京都新聞社会福祉事業団とのコラボ

「車いす自立への旅」

「夢をかなえる自立生活教室」

「みんなで海釣り体験教室」

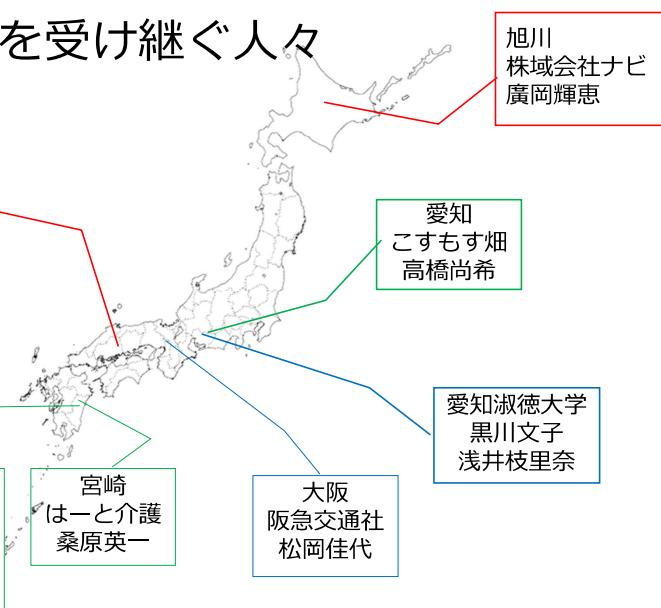
素敵な親になるための講座



## 3章 谷口さんの足跡を訪ねて

### 谷口マインドを受け継ぐ人々

広島県  
寿波苑 鎧本智昭  
NPO法人Piano<sup>2</sup>  
阿部真理子  
福山市社会福祉協議会  
平岡辰士



13

### 行政職員と協力 地域福祉施策作りに貢献

2003年 京都地区障害者施策推進協議会副委員長

2004年 京都府参与障害者自立支援計画

(アクションプラン)担当



2003年「京都府シティグラ2003」  
京に吹く風コーナーに紹介される

行政と当事者の橋渡しをし  
てくださいました。

できないこと探しではなく  
ワクワクしたプランを!

明るくポジティブな共生社  
会を作りたい

京都府健康福祉部  
山田康之

15

16

# 2004年 愛知淑徳大学 医療福祉学部 福祉貢献学科 教授



「障害者であっても、健常者であっても、自立のためには努力を重ねなければいけない。」

「先生はいつも全力でした、研究も、教育も、楽しいことも。」

谷口先生独自の科目  
地域生活支援サービス論 社会福祉時事問題論  
福祉対象者とセクソロジー マイノリティ運動論



17

## 4章 人生は楽しく夢をもって

研究所ファミリー  
恒例行事



クリスマス会



祇園祭り



大人になって  
できた親友



楽しいことは何で  
もチャレンジ

身体に障害をもっているとい  
うことを大切して生きていくけ  
たらしいな、といつも思って  
います。

18

## インタビューを終えて

障害をもっているからと、遠い山の中の施設で一生暮らさなければいけない人がいる。

障害があって働けないから生きる価値がないと言われる人がいる。

障害があるから自分は何もできないと思っている人がいる。

それを「当たり前」と思う人や社会を変えることが谷口さんの大きな夢でした。



19

## 出版への道のり 1

- 2020.6 ゆきさんの縁結びで  
『(株)クリエイツかもがわ』から出版決定
- 2020.7 奥様・武田さんに出版について報告(京都)
- 2020.8 第1回編集会議開催(京都) 武田さん参加
- 2020.11 座談会開催 (ZOOM利用)  
武田さん・小川先生・小田島さん・鎧本さん
- 2021.3 座談会「唯一無二の人 谷口明広」原稿仕上がり  
座談会をもとに構成を変更
- 2021.5 新谷口さん原稿提出
- 2021.6 第16回編集会議



20

## 出版への道のり 2

- 2021.8 クリエイツ原稿修正箇所・業績の追加提案  
2021.9 改定谷口さん伝記提出  
2021.9 クリエイツ小見出の移動提案  
2021.9 改定谷口さん伝記②提出  
2021.9 第18回19回編集会議  
2021.10 クリエイツ修正・構成検討  
2021.11 武田さんみずほさんに原稿確認と修正  
2021.11 第19回編集会議  
2021.12 (仮) 障害があったからおもろい 最終予定原稿提出  
しかし、おもろない本になってしまった!!

21

## 出版への道のり 3

- 2022.2 第21回編集会議 ゆきさん参加  
誰に読んでもらうための本なのか?何のための本なのか?  
⇒構成変更、1章生い立ちから  
2022.3 谷口さん伝記F提出  
2022.4 第23回編集会議  
2025.5 谷口さん伝記F②提出  
2022.6 第24回編集会議  
2022.7 武田さん、みずほさん原稿確認と編集会議  
2022.9 初校届く、校正  
2022.10 武田さん、みずほさんご確認と写真の選定、  
2022.11 校正提出、2週間後第2校完成予定

22

## 課題研究と本の目次を比較

### 課題研究の目次

車いすに乗った谷口明広先生ものがたり  
一自立生活に向けての軌跡とメッセージ

- 1.生い立ち
- 2.自立生活は楽しく具体的に
- 3.足跡を訪ねて
- 4.人生は楽しく夢を持って
- 5.また、障害者の歴史が終わつた
- 6.谷口さんを訪ねる旅を終えて

### 2021年 本の目次

仮)障害があったからおもろい  
—GREAT DREAMER 谷口明広—

- 1.障害があるからこそできる!  
バークレーに留学
- 2.差別されて大学院へ  
谷口さんの生い立ち
- 3.自立生活の達人  
当事者であり研究者
- 4.「妻1人子供2人いてあかんのか」  
最高のパートナーと普通の家庭
- 5.谷口さんってどんな人?  
インタビューで足跡をめぐる
- 6.唯一無二の人 座談会
- 7.人生は楽しく夢を持って
- 8.障害と共に生き  
社会を変えようと生きた谷口さん

23

## 初校の目次

仮)障害があったからおもろい  
—GREAT DREAMER 谷口明広—

- はじめに
- 第1章 生い立ち
- 第2章 自立生活は楽しく—谷口さんのソーシャルアクション
- 第3章 インタビューで足跡をたどる—谷口さんて、どんな人
- 第4章 人生は楽しく夢をもって
- 第5章 座談会  
唯一無二の人—谷口さんは何を伝えたかったのか  
おわりに

24

## 本を書くことで見えてきたこと

逆転の発想で前例を超えた谷口さん

- ・障害があつて何が悪いのですか?
- ・私の最高のパートナーはこの障害や
- ・君たちは国家公務員です
- ・トイレマップから食マップへ
- ・歩行リハビリより車いす生活
- ・介助は頭脳労働です

九ヶ条は自分へのエール

- ・自信はないけど『チャレンジ精神』で『あきらめず』に目標に向かって『努力』した。
- ・剣が峰を生きていた

家では普通のパパ そこが凄い!!

- ・介助者ではなく妻になります!
- ・奥様のインタビュー「普通の家庭と同じです」

## 私も新しい一步を! 博士課程で研究をスタート

### ①当事者参画による変革

前例をこえる、社会を変える患者・  
障害当事者の声

「障害者は高齢社会の水先案内人」

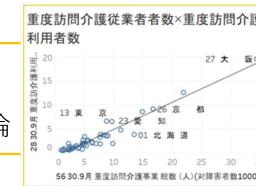


大熊由紀子先生

当事者参画の  
障害者福祉計  
画の研究

### ②社会変革をもたらす評価理論

地域医療福祉ジャーナリズム特論  
地域医療データジャーナリズム特論



### ③自立

「依存による自立」

衣服の着脱に1時間要するものがいるとすれば、  
その人に対して介護人を派遣して10分で着脱を  
終わらせ、残りの50分をより人間的に有意義な  
時間を作り出していくようとする。

25

26

## 私も新しい一步を!

『一般社団法人あつたらいいなをカタチに』



「一遇を照らさば、万燈あまねく  
之を照らすものなり  
お金を出せる人はお金で  
おもちゃを出せる人はおもちゃで  
労働を惜しまない人は行動で  
皆さんの愛の心でこのボランティ  
アを応援してください」

一般財団法人 日本おもちゃ図書館  
財団 創始者、山科直治初代理事長  
の言葉を胸に活動をつづけていま  
す

ご清聴ありがとうございました

谷口明広さんのメッセージが詰まつた  
おもろい本は3月出版予定です!

27

28